

三つ星農園

MITSUBOSHI FARM

三つ星株式会社 代表取締役 富田美和

三つ星株式会社



所在地：福井県坂井市坂井町

設立：2018年1月11日

栽培品目：トマト（50a）、白ネギ（8ha）

従業員：12名（正社員4名、パート8名）

ここまでのあゆみ

2017

個人就農

+ 露地

パイプハウス2棟

2018

三つ星(株)設立

雇用導入

2019

十連棟ハウス稼働
(トマト周年栽培)

白ネギ2ha

トマト50a

2020

白ネギ栽培本格化

白ネギ5haに拡大

2022

白ネギ出荷調整施設
保冷施設 整備

白ネギ8haに拡大

三つ星のチャレンジ

積雪地域での連棟ハウス

【メリット◎】

栽培面、環境制御面で効率が良い。

【デメリット×】

積雪による損害の可能性が大きい。



融雪装置や骨組の設計を工夫することで、連棟を実現



三つ星のチャレンジ

砂丘地でのネギ栽培

【メリット◎】

柔らかく仕上がる。作業性が高い。

【デメリット×】

水管理、肥培管理が難しい。



独自の栽培管理方法を確立し、砂地での栽培を実現



三つ星のチャレンジ

福祉分野との連携

【メリット◎】

人手不足の状態を避けられる。

【デメリット×】

県内で前例・ノウハウがない。



試行錯誤により、トマト・白ネギ作業で農福連携を実現



トマト

施設面積：50a

鉄骨・10連棟ハウス

栽培方式：ハイワイヤー

越夏型周年栽培

ヤシ培地

収穫時期：4月～12月



みつぼしトマトの特徴① 赤採り

一般的な大玉トマトが着色はじめの色目で収穫するのに対し、みつぼしトマトは赤熟状態で収穫します。

（メリット）トマトのうまみ成分や栄養価は完熟直前に急激に増加する特徴があります。赤採りのトマトはうまみが強く栄養豊富です。

（デメリット）長い期間実をつけておかねばならず、トマトの樹（植物体）自体に大きな負荷がかかります。大変栽培が難しくなります。

みつぼしトマトの特徴② 日保ち

三つ星農園では、常に新しい品種を試験栽培し、栽培方法を工夫しています。

×せっかく赤採りしてもすぐに柔らかくなってしまふ

×店で販売中にすぐに傷んでしまふ

×高温に弱く夏場に常温では保管できない

といったことのない、日保ちのよいトマトを販売します。

みつぼしトマトの特徴③

自社選果

みつぼしトマトは自社基準による選果を行っています。

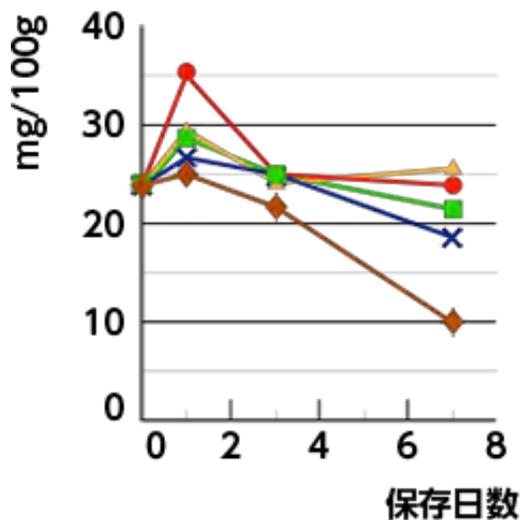
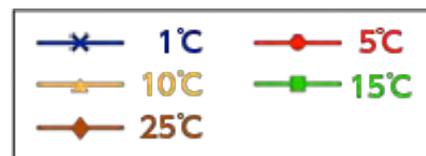
果重によるサイズ選別だけでなく、熟練した選果員の目と手によって、販売先のニーズに合わせた選別を行います。



みつぼしトマトの特徴④ 鮮度

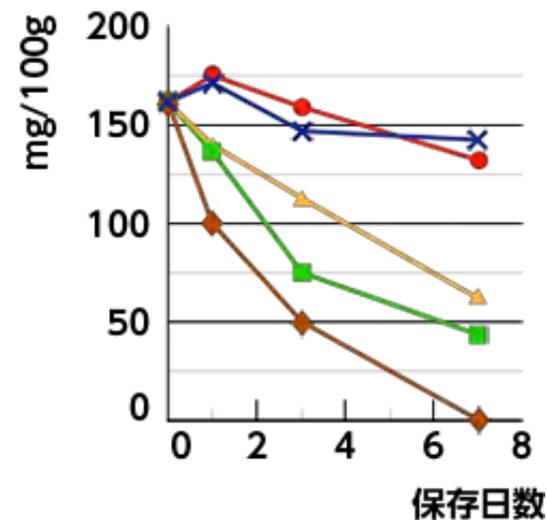
野菜の栄養は、収穫後減少していくものが多いです。

可能な限り栄養価の高い状態で食べていただくために、収穫翌日にはお客様に届くことを目標としています。



β-カロチン

モロヘイヤの例



総ビタミンC

白ネギ

栽培面積：8ha

圃場：坂井市、あわら市水田

坂井市三里浜砂丘地

収穫時期：7月～翌5月



三つ星の白ネギの特徴① 周年出荷

三つ星の白ネギは、圃場と季節に応じて品種を厳選し、栽培スケジュールを工夫することで、長期間安定した出荷が可能です。

6月末から翌年5月半ばまで収穫・出荷しています。

三つ星の白ネギの特徴② 袋入

衛生面、および出荷後の品質維持を目的として、袋に入れた状態で出荷しています。

（衛生面）店頭での品出しの際、お客様が商品を確認される際、ネギの表面に傷がつくのを防ぎます。また、衛生的にもメリットがあります。

（品質管理面）ネギは乾燥により黄化したりカサついて品質が低下します。袋に入れることで品質低下を防ぎます。

三つ星の白ネギの特徴③ 予冷

ネギは高温に非常に弱い作物です。特に昨今、夏場の気温が高く、かつ、温度が高い時期が長期間にわたります。輸送中から店舗に陳列するまで、商品が高温になることで黄化したり腐ったりといった問題が発生します。

三つ星農園では、出荷前に予冷库に入れてネギの芯までしっかり冷やすことで、夏場の商品の劣化を抑えます。

アグリテック Agriculture × Technology

農業領域でICT技術を活用すること

農業にテクノロジーを導入することで、栽培技術の継承や担い手の確保、作業の省力化など、農業の課題を解決に導くことが期待されている

三つ星のAgritech①

統合環境制御装置を用いた 連棟ハウスでのトマト周年栽培



天窓、カーテン（遮光・保温）の開閉、炭酸ガス、加温機、
パッドアンドファン（気化熱冷房装置）、液肥施用を自動化

→植物の栽培環境を適正に保つ

三つ星のAgritech②

産業用ドローンを用いた 農薬等の散布



ドローンを使用して空中散布できるもの

・・・殺菌剤、殺虫剤、肥料、除草剤、種

農業の未来のために

国民の食と命を支える産業としての誇りを持って、
日本の農業が続いていくこと

農業が、「儲かる産業」「面白い産業」
「魅力的な産業」となること

三つ星農園はそんな未来のために、これからもチャレンジを続けます